

平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	梯川下流部堤防完成記念事業	事業経緯	継 続	実施体制	後 援	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	キャンペーン、〇〇月間	

1. 事業目的

梯川は、流下能力不足のため過去から幾度となく洪水被害に見舞われてきた。昭和46年の一級河川指定により、国直轄の河川改修に着手した。平成2年度からの前川排水機場建設を皮切りに本格的な河川改修を進め、8年度には小松地区で分水路方式を取り入れ、11年には下流部区間を都市計画決定して進捗を図り、今般ようやく下流部区間において堤防が完成した。

この節目に、地域住民に梯川における改修と地域の関係や改修の歴史・効果を再認識していただくとともに、治水事業や川づくりへの関心・理解を高め、次世代に継承していくことで、治水事業の有用性の啓発や防災意識の高揚を図る。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

東日本大震災でも語られた「自然災害に上限はなく、再び繰り返される」との教訓のもと、梯川流域においても防災・減災に対する取り組みの継続は重要であり、過去からの河川改修やその効果を住民に啓発することは意義深い。

小松地区改修は「川づくり(河川改修)・道づくり(街路改修)・街づくり(公園整備等)」を謳い、3事業者(国・県・市)の共同事業として進められた。特に、河川改修では、治水対策と文化財保護両立の観点から、国指定重要文化財を含む小松天満宮を浮島として現存させる「分水路方式」を採用した。小松天満宮創建から360年の節目の年に竣工を迎え、本事業を通じてさらなる防災意識の高揚、梯川を軸とした地域づくりの契機となることが期待される。

2. 事業実施体制

主 催：国土交通省金沢河川国道事務所、梯川水系河川改修促進期成同盟会
後 援：石川県、小松市、(一社)北陸地域づくり協会、(一社)石川県建設業協会

3. 事業実施概要

◆梯川分水路竣工式

日 時：平成29年11月19日(日) 10:00～11:00
場 所：小松市天神町地先(小松大橋下流右岸堤防)
内 容：式辞(国土交通省北陸地方整備局長)
祝辞(石川県知事、地元選出国會議員)
事業者挨拶(国土交通省治水課長)
事業説明(金沢河川国道事務所長)
謝辞(小松市長)

◆併 催

- ・記念植樹
- ・梯川改修の歩みパネル展
- ・記念アトラクション(能演舞)



式辞／祝辞



事業説明



記念植樹



河川改修事業パネル展



アトラクション(能演舞)